

相川正光氏が当選



町長就任のごあいさつ

鶴田町長 相川正光

8月3日(日)、任期満了に伴う鶴田町長選挙の投票が行われ、即日開票の結果、無所属で新人の前青森県議会議員の相川正光氏が当選し、新町長に就任されました。
新町長の任期は平成26年8月21日から平成30年8月20日までの4年間となります。

康長寿を目指した朝ごはん運動や津軽富士見湖を中心とした観光振興など、数え切れないほどの施策を展開し、その成果を上げてこられました。

ります。

朝ごはん運動では、全国に先駆けて制定した朝ごはん条例に基づき、ごはんを中心とした食生活の改善や早寝・早起き運動の推進など、基本方針に則った健康長寿のまちづくりを目指した運動を展開し、全国運動にまで発展させてまいりました。町民の皆さまが健康で長生きできるように、さらに運動を強化してまいります。

そのほかにも農業振興や観光振興など、中野町政の数々の事業を引き継ぎ、発展させていかなければならないと考えております。

私は、『町民の皆さまの笑顔と元気あふれる鶴田町』を目指して、誠心誠意努力してまいります。

また、社会経済情勢の変化に伴い、行政需要も多様化しており、町民の皆さまのご理解と信頼を得るためにも、町民の皆さまと同じ目線で、透明性の高い行政運営を目指してまいりますので、町民の皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

8月に行われました鶴田町長選挙におきまして、町民の皆さまの温かいご支援を賜り、町長の重責を担うことになりました。

10期40年に渡る中野町政を引き継ぐことになり、誠に光栄に存ずるとともに、町民の皆さまの期待の大きさに身の引き締まる思いであり、その責任の重さを痛感しているところであります。

私はこれまで、鶴田町議会議員、鶴田町収入役、青森県議会議員として、住民の幸せのため、安心安全なまちづくりを実現するため、日夜汗を流してまいりました。

これまで培ってきた経験を町政に生かし、活力のあるまちづくりを推進するため、町民の皆さまの幸せのために全力を注いで、町政の運営に当たる所存で

あります。

日本は少子化の影響により人口減少社会に突入しております。総務省の人口推計では、日本の人口は平成24年10月から平成25年9月までの1年間に21万7千人、0・17パーセント減少しております。中でも青森県は秋田県に次いで、全国で2番目に高い減少率となっております。

国立社会保障人口問題研究所の試算では、2040年の鶴田町の人口は、8963人となり、2010年に比べ、5千人以上少なくなると試算されています。元総務大臣の増田寛也氏が雑誌「中央公論」に寄稿した「消滅する市町村523」によれば、若年女性の減少により総人口が減少し、将来消滅する市町村が出てくると指摘されています。そ

の中には、西北五地区の市町村も含まれており、西北五地区は青森県内でも高い減少率となっております。

鶴田町でも人口減少は続いておりますが、人口減少率は西北五地区の中では一番低くなっております。これは、児童育成支援金などの取り組みの成果であると考えており、引き続き、子育て環境や雇用環境の整備に努めてまいります。

また、政府は地方の人口減少対策や地域経済活性化に取り組む地方創生本部を作り、対策を強化する方針でありますので、その動きもしっかり注視していかなければなりません。

40年に渡る中野町政は、国際社会で活躍できる人づくりのための国際交流事業をはじめ、健



鶴田町長 相川 正光

昭和28年10月29日生まれ。60歳。青森県立五所川原農林高校卒業。卒業後は青森県連合青年団団長など青年団活動を実践。昭和59年、鶴田町議会議員に当選。平成12年からは町議会副議長を務めた。平成14年、町議5期目の途中で町収入役に選任される。平成15年には青森県議会議員に当選し、平成23年から県議会副議長を務めた。座右の銘は「誠心誠意」。趣味は野球のテレビ観戦。

町民の皆さまの笑顔と 元気あふれる鶴田町を目指して

町長就任に当たって、相川町長は

- ①地域資源を活用した農業・商工業・観光・介護福祉関連産業の振興を図り、地域でお金を回す地域内循環で町の経済、雇用、生活を守っていきます。
- ②結婚から出産、子育て支援の充実を図り、定住できる環境整備に努めます。
- ③国際的視野を身に付け、志を持って自立していける人材の育成と、学習環境の整備に向けた取り組みを進めます。
- ④住み慣れた町で共に支え合い、健康で安心して生活できる保健・医療・福祉の充実を図っていきます。
- ⑤行財政改革を一層推進し、持続可能な財政運営に努めます。

の5つを公約に挙げました。

さらに、『つるた笑顔と元気戦略』として、

- 1. 子どもの医療費無料化を小学生まで拡充
- 2. 地域商品券の積極的活用
- 3. 道の駅を核とした地場製品の販売拡大

の3つの重要課題に取り組むことを誓いました。

中野撃司氏が町長勇退

Pick up

8月20日（水）、昭和49年より10期40年にわたり町長を務めた中野撃司氏が任期満了を迎えました。

退任のあいさつの場で中野氏は「これまで支えてくれた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです」と述べ、「思いやりの心もち、鶴田町の町民の方々の幸せのために知恵を出し合い、笑顔あふれる青森県一の町を目指して頑張ってください」と職員へ言葉を贈りました。最後は、職員や町議会議員から花束が贈られ、大きな拍手に見送られながら庁舎に別れを告げました。

また、平成19年9月より副町長を務めた山本一郎氏も同日付で辞職されました。



△花束を手にも、職員や町民の方々からの大きな拍手に見送られる中野前町長